

来年度  
から

# 学校給食費の値上げは困ります 他の公共料金値上げの引き金に

葛飾区が、来年度から小中学校の給食費の値上げを検討していることをご存知でしょうか。

この間、配偶者特別控除の廃止、定率減税の廃止など事実上の増税が行われてきました。世界経済が深刻な危機にあり、日本の経済も深刻な状態になっています。食料品の値上げも相次ぎ、学校給食も直撃しています。

いま、学校給食の値上げを許してしまえば、他の公共料金、保育料や学童保育料などの値上げの口実を与えることになってしまいます。



## くらしが大変な時、新たな負担



学校給食は、教育の重要な一部であり、質をおととしてはなりません。

この物価高は、学校給食にたずさわる関係者から、給食を維持していくには限界だという悲痛な声が広がっています。

納入業者の側からしても、学校給食の材料だけ安く供給すれば、商売が成り立ちません。

したがって、公費補助によって学校給食を守るべきであり、新たな負担を保護者に求めるべきではありません。そうすれば給食を作る側も納入業者も、質をおとさず学校給食を守ることができます。

日本共産党区議団は、学校給食費についてのアンケートにとりこんでいます。下記のアンケートにご協力をお願いします。

日本共産党  
葛飾区議団だより

2008年度冬号外 発行責任者 濱川ひとし  
葛飾区立石5-13-1 日本共産党葛飾区議団控室5654-8521

裏面もご覧ください

きりとり

### 学校給食に関するアンケート

1、学校給食の値上げが検討されていますが、あなたのご意見は？

賛成

反対

その他（）

2、学校給食費の他にも教材費などかかりますが、あなたの実感は？

適正である

高すぎる

その他（）

裏面にも続きがあります。